

縦 合 ク ラ ブ ひ ろ か わ

- Grand Bird X'mas コンサート -

一昨年大好評だった Grand Bird (グランバード) の演奏会を12月に開催！懐かしい歌謡曲やオールディーズ、グループサウンズの曲など、数多くの楽曲が演奏されます。

新型コロナウイルス対策は万全です。土曜日の午後のひとときを、ぜひお楽しみください。

久留米市を拠点に
活動している
Grand Bird の皆さん

日時 / 12月11日(出)、14:00
～16:00(開場13:30)
会場 / はなやぎの里3階
多目的ホール
参加費 / 100円

※事前申し込み不要
※参加費は受け付け時にお支払い
ください。
※マスクを着用してご参加
ください。



☎総合クラブひろかわ事務局 (教育委員会事務局生涯学習係内) ☎0943-32-0093

広川文芸

広川短歌会



月初めに届けてもらう広報に仲間の詩歌は誇らしくあり	蓮子 住雄
広川町の訛りに慣れて早や十年「よかよ」と言へば町びと笑ふ	横山 方子
広川の友の笑顔に会いたくて歩ける限りと夢は膨らむ	姫野 洋子
よきものと思ひ求めて後悔す外に叶はぬ身 広告が好き	野中ヨシ子
広縁にフェルトでつくる布絵本とんぼのめがね口ずさみつつ	野中 勝美
夕焼けが学童保育の広窓に映りてやさし お迎へまあだ	青木佳代子
誕生日の祝ひの服着て腰伸ばし鏡の前にくるくるまはる	原 千恵子
黒き蝶の鉢一面に羽広げ明朝早く飛び発つ備へ	美座 時朗
広大な野山駆けたる二十代時を重ねて夢のまた夢	結束 節子
録音は目の不自由な方々へ町の広報を丁寧を読む	高橋 和子
わたくしにうた詠むならひ根付かせて母の広辞苑さらに古びぬ	山下 整子
広川のブランド作りに誘はれてはてさて何も浮かばぬアタマ	鹿田 恵
梨ちぎりに疲れしわれににわか雨 孫が指さす虹の橋ふたつ	姫野 深幸

まちのわだい

第19回 広川町少年野球大会



全員で勝ち取った銅メダル

下広スターボーイズ

10月16日(出)・17日(回)・24日(回)に行われた「第19回広川町少年野球大会」で、下広スターボーイズが3位に賞しました。コロナ禍で全体練習に制限がかかる中、限られた時間で挑んだ本大会。サヨナラ勝ちを含め1回戦から3回戦まで勝ち進みましたが、惜しくも準決勝で敗れ銅メダルとなりました。今期残された大会もわずかですが、野球ができることに感謝し、悔いのないプレーができるよう優勝目指してがんばります。

野球の楽しさ、おもしろさを私たちと一緒に経験してみませんか？
新入部員いつでもお待ちしております。
圖代表・大塚
☎090・6421・6127

太原のイチョウ畑をきれいに

広川町商工会工業部会



11月14日(日)、広川町商工会工業部会が太原のイチョウ畑周辺を清掃しました。当日は商工会役員や商工振興委員、青年部、女性部など多数のボランティアが参加。畑や周辺道路のごみを回収しました。工業部会による地域の清掃活動は今年で4年目。光益工業部会長は「今後もこのように地域との交流を深め、町に貢献できるような、引き続き活動を続けていきたい」と抱負を語りました。

協働で散乱ごみ回収

吉永商店(株)×(株)原口商事×広川町



10月18日(月)、吉永商店(株)と(株)原口商事、広川町が協働し、広川インター周辺の幹線路沿いで散乱ごみを回収しました。ペットボトルや缶、不法投棄物など、約63袋分の散乱ごみに参加者からは「ごみ問題の深刻さと環境保全に対する意識啓発の重要性を感じた」という声がありました。

公民館で健康体操

一條通いの場



いつまでも健康で地域で暮らせるようにと、地域の皆さんが声を掛け合い、10月から一條区公民館で「一條通いの場」が始まりました。地域通いの場は長延区、久泉区、当条区、藤田区に次いで5か所目。介護予防サポーターが中心となり、体操やレクリエーションを行います。参加者からは「自宅で行える運動の仕方がわかってよかった」「久しぶりに皆で体操できて楽しかった」という声がありました。

新たな町指定文化財

一百万遍経念佛供養供養石塔・銅矛



10月27日(水)、長延区の祖霊廟敷地内にある「一百万遍経念佛供養石塔(写真左)」と、広川町教育委員会に寄贈された弥生時代の武器形祭器「銅矛(写真右)」が、町指定文化財に指定されました。

一百万遍経念佛供養石塔は阿弥陀如来をご本尊として1549年に彫られた石塔で、広川町では3番目に古いものになります。銅矛は上半部を欠損していますが、文化財的価値が高い青銅器です。

ダンスや組み体操を保護者へ披露 下広川小学校 体育発表会

10月29日(金)、下広川小学校で運動会に代わる「体育発表会」が行われました。これは子どもたちが体づくりの運動や表現運動で学習したことを保護者へ発表するもの。低学年・中学年・高学年の3つに分かれて行われました。低学年の子どもたちは「ひよっこりひよたん島」のダンスを披露。中学年はソーラン節とリレー、高学年は組み体操(二人技)と集団行動、フラッグ、障害物リレーを披露しました。終わった後の振り返りでは「お家の人に見られてドキドキしたけどちゃんと踊れてよかった」「練習のときより上手にできてよかった」「皆で楽しくできてよかった」という声がありました。



空手で全国大会へ

佐藤恵菜さん

10月26日(火)、真総合空手道園(けずみ総合)に所属する佐藤恵菜さんが「第15回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会(大阪府)」への出場が決定したことを渡邊町長へ報告しました。予選大会では中指の骨折をもちとせず、見事優勝に輝き、全国大会への切符を獲得。恵菜さんは「予選でうまくいかなかったところを練習で意識し、全国大会でも優勝を目指してがんばります」と意気込みを語りました。なお、恵菜さんには青少年健全育成を目的に寄与される「広川町青少年人材育成補助金」と「広川町スポーツ振興チャリティー基金」が広川町・広川町体育協会から贈られました。



写真左から富山教育長、恵菜さん、渡邊町長

町民の安全安心な暮らしのために 八女地区食品衛生協会 衛生用品寄付

10月18日(月)、(公社)福岡県食品衛生協会八女地区食品衛生協会から広川町へ衛生用品(手指消毒剤、泡ハンドソープ、ウェットシート)が寄付されました。木下会長は「町内でも多くの新型コロナウイルス感染症が発生し、行政当局や医療従事者が大変な思いをされている中、町民の皆さまの安全安心につながるよう、少しでもお役に立てれば」と寄付への思いを語っていました。



写真左から木下会長、渡邊町長、樋口さん、蒲池さん

世界の平和を願う

戦没者・消防殉職者合同追悼式

10月19日(火)、広川町保健・福祉センター「はなやぎの里」で戦没者・消防殉職者合同追悼式が開催されました。今年も昨年同様、コロナ禍のため、規模を縮小して開催。遺族や関係者など30人が参列しました。式後は自由に参拝できる時間が設けられ、遺族29人による恒久平和の祈いや追悼の献花が行われました。





【受賞者】(前列) 左から2番目:古賀秀利さん 3番目:吉住政子さん 4番目:田中義行さん (右上) 橋詰淳一さん

町の振興・発展に貢献

広川町表彰式

11月1日(月)、町民交流センター「いこつと」で「第48回広川町表彰式」が行われました。これまでに教育長や農業委員、区長、衛生班長など、町の振興・発展に貢献した4人(吉住政子さん、古賀秀利さん、田中義行さん、橋詰淳一さん)が受賞。渡邊町長はこれまで尽力されたことに感謝するとともに「経験や知識を今後に活用してほしい」と述べました。受賞者の吉住政子さんは「多くの人たちの温かい支援のおかげで職責をまっとうすることができた。世界で活躍する人材を育成する教育環境がさらに充実し、広川町がますます発展することを願っている」とあいさつしました。

医療従事者への支援に

(株)ロキテクノ 1000万円寄付

10月22日(金)、(株)ロキテクノから広川町へ1000万円が寄付されました。(株)ロキテクノは、主に産業用精密ろ過フィルターを製造・販売する会社で、約30年前から広川中核工業団地で事業を行っています。江崎信之事業所長は「昨年はコロナ禍でマスクが不足する中、いち早く国産のマスク製造に取り組みしました。今年も何か我々でできることがないかと考え、大変な思いをされている医療従事者への支援になることを思い寄付に至りました」と話され、渡邊町長は「医療従事者への支援や医療体制強化の取り組みに有効活用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。



写真左から高山総務グループリーダー、伊原管理部長、江崎事業所長、渡邊町長、飯田副町長

図書館サービス向上のために

国際ソロプチミスト八女 ブックトラック寄付

10月21日(木)、国際ソロプチミスト八女から広川町立図書館へブックトラック2台が寄付されました。パステルカラーの優しい緑色をしたブックトラックは現在、本の展示などに使用されています。今後利用者へのよりよいサービス提供のために活用される予定です。

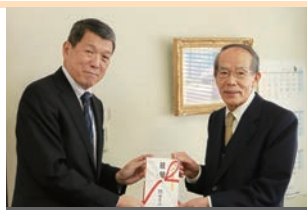


写真左から梶原図書館長、上嶋さん、平田さん、富山教育長

学校教育の振興のために

野田吉二さん 100万円寄付

100万円が寄付されました。野田さんは6年にわたり書店業務に従事。うち44年間、(株)ヤヒメ教材にて広川町・八女市を中心に学校教材や学校図書の販売などに携わってまいりました。野田さんは「長らくお世話になった広川町の学校教育の振興に役立ててほしい」と話していました。



写真左から富山教育長、野田さん

10月28日(木)
(株)ヤヒメ教材
(八女市本町)
前代表取締役
の野田吉二さん
(八女市在住)から、広川町教育委員会へ